

藤井聡太君のこと

生徒諸君は将棋に興味がありませんか。将棋界で一世を風靡した藤井聡太君のことを紹介します。

筆者も小・中学校時代の普段遊びや学校の昼休みに将棋をよく指しました。夏休みも木陰の縁台で将棋に熱中しました。まわり将棋はさみ将棋もやりました。勝負に一喜一憂して、将棋の奥深さも知らず楽しい遊びで終わっています。

閑話休題、頭脳明晰なプロ棋士の集団には、実績のある棋士が数多いです。その集団の中に入って、中学3年生の藤井聡太四段が、あれよあれよという間に、29連勝という最多連勝記録を更新しました。

偉業達成にも驚きましたが、筆者はもう一つ驚かされたことがあります。

それは対局後のコメントです。「実力からすると望外の結果」「僥倖としか言いようがない」等、中学生と思えない落ち着いた言葉遣いに感銘を受けました。

趣味は読書で新聞もよく読むそうです。読書によっていつの間にか培われる「語彙力」は、思考力、理解力、表現力を向上させる基盤になります。語彙力のある人は感情の起伏が少なく、自分の怒りもコントロールできるそうです。

藤井君は財布を新幹線に忘れたり、将棋会館に宿泊した際、着替えや傘を忘れて来たこともあるとか。天才棋士にも人間臭さがあったりして親近感を覚えます。

○10月の言葉

目の前の小さなことをおろそかにしない。

○語彙力チエック

①「帰趨」の正しい読みは。

Aきそう Bきしゅう Cきすう

②「絆」の正しい使い方は。

A固い絆で結ばれた仲間。

Bお互いの絆を埋め合った。

C親子で絆を引いてみた。

③○に適当な漢字を入れよ。

この文章は古人のものに()

して書かれた。

A義 B擬 C偽

④「期せずして」の正しい使い方は。

A彼は期せずして会議に遅れた。

B我々は期せずして出会った。

C私は期せずして旅に出た。

⑤「口想天外」の口に入る正しい漢字は。

A気 B起 C祈 D奇

(解答) ①C ②A ③B ④B

⑤D